

福井市における障がい相談支援体制について

相談支援体制の全体像（市・圏域・県の三層構造）】

- ① 市レベル（最も身近な相談支援）
 - ・ 地域の相談支援体制の整備状況・課題の把握
 - ・ 基幹相談支援センターの運営協議
 - ・ 個別事例の協議・調整
 - ・ 市障害福祉計画の進捗確認
- ② 圏域レベル（広域的な支援・専門性の補完）
 - ・ 医療・福祉・就労など広域連携が必要な課題の協議
 - ・ 専門的相談支援（精神・発達・難病・高次脳機能・医療的ケア児など）の体制整備
 - ・ 圏域内市町の課題の共有・支援
- ③ 県レベル（全県的な支援体制の整備）
 - ・ 相談支援従事者研修の企画・実施
 - ・ 広域的な社会資源の開発
 - ・ 市町協議会の課題の集約

【相談支援体制について自立支援協議会に求められる役割】

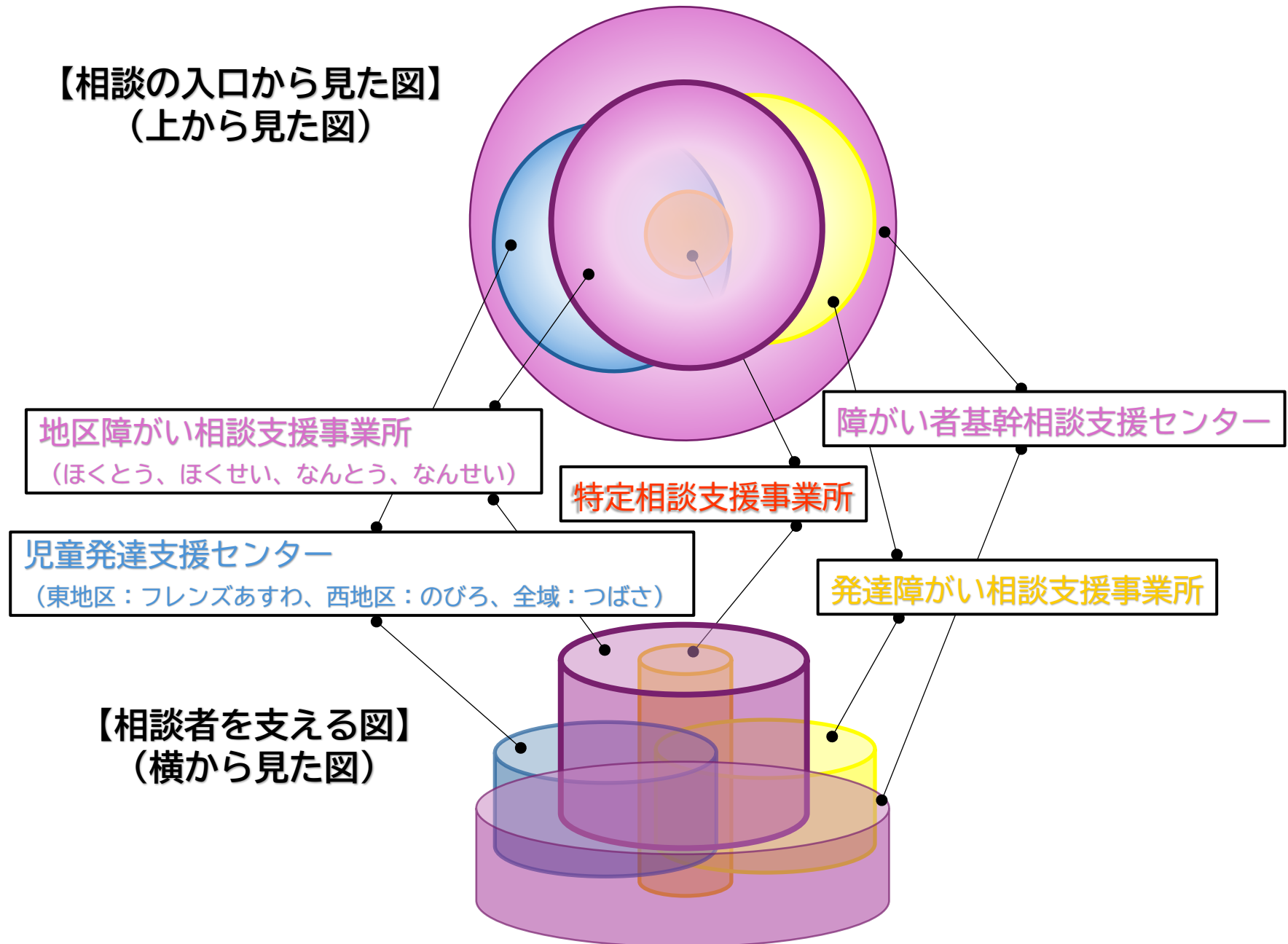
- ①障がい者の地域生活を支えるには、複数サービスの調整が不可欠
- ②相談支援従事者だけでは限界があるため、ネットワーク構築が必須
- ③個別調整会議で得たニーズを、地域全体の課題として自立支援協議会で共有する
- ④地域全体の課題から出てきた社会資源の改善・開発を自立支援協議会で協議・実現していく

対象者別に見た障がい相談支援体制



相談者から見た障がい相談支援体制

【相談の入口から見た図】
(上から見た図)



【相談者を支える図】
(横から見た図)

地理的に見た障がい相談支援体制

